

Ⅲ

とちぎの「地域の教育力に関する実態調査」について

III とちぎの「地域の教育力に関する実態調査」について

1. 調査の概要

本調査は、先に平成17年10月に全国で実施された「地域の教育力に関する実態調査」の結果と比較・検討するために、本県内の各市町教育委員会の協力を得て実施したものである。

そして、本県内の地域の教育力に関する実態を把握するとともに、平成13年度より推進している「ふれあい学習」「地域子ども教室」等の事業の成果を検証することとした。

2. アンケート調査の方法

- ①方法 質問紙による調査
- ②対象 本県内33市町の保護者（958人）
- ③調査期間 平成18年10月下旬～11月
- ④調査項目 資料（P62～）参照（「子どもや地域との関わりについてのアンケート～地域の教育力に関する実態調査～（保護者用）」（文部科学省）と同様の項目）

3. 保護者に対する調査

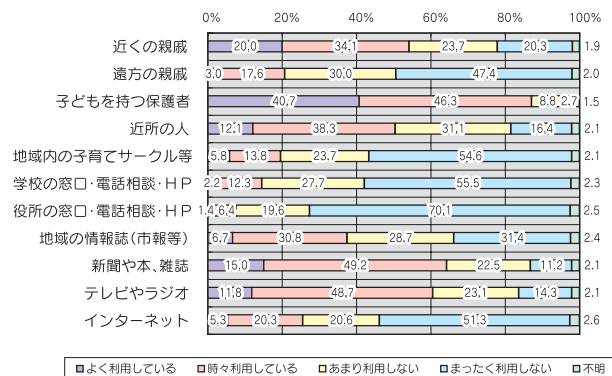
(1) 子育てに関する情報の入手先や相談相手と信頼性について

本県における子育てに関する情報の入手先については、87%の保護者が、「子どもを持つ保護者」からの情報が、大きな情報源となっている。また、役に立つかどうかについても「子どもを持つ保護者」からの情報が「大変役に立つ」（49.0%）で一番高く、「少し役に立つ」（41.4%）と合わせて90.4%となり、ほぼ全国の結果86.6%と同様の傾向といえる。

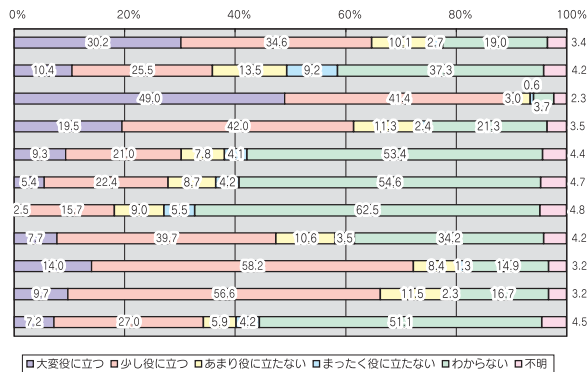
子育てに関する情報の入手先や相談相手と信頼性

栃木県

【入手先や相談相手】

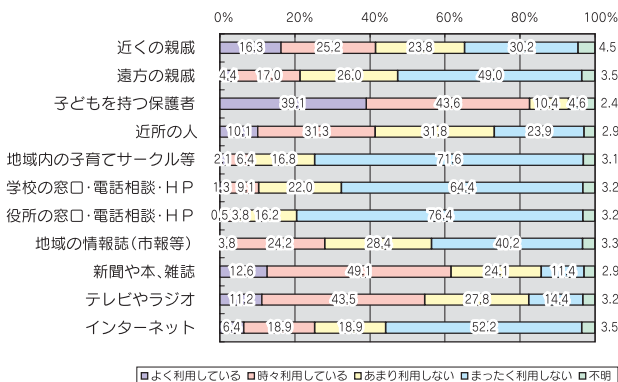


【役に立つかどうか】

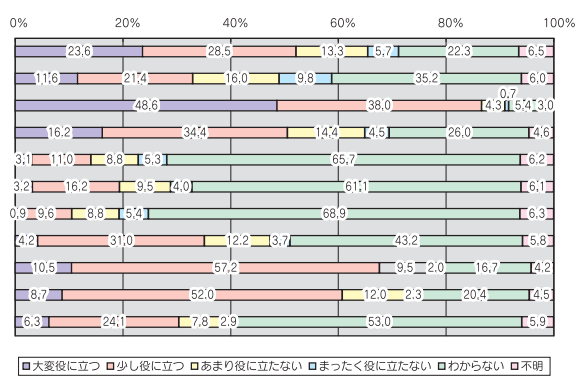


全国

【入手先や相談相手】



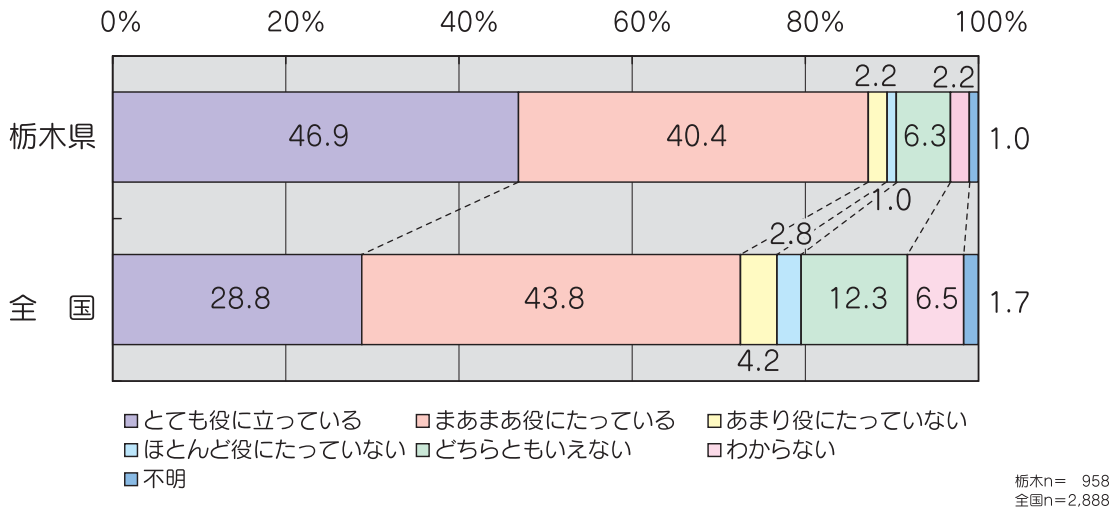
【役に立つかどうか】



栃木n=958
全国n=2,888

(2) 地域が協力し合って子育てすることは子どもの教育に役立っているかについて
 本県では「とても役に立っている」が46.9%であるのに対して、全国では28.8%である。「まあまあ役に立っている」(40.4%)を合わせると、本県は87.3%であるのに対して、全国は72.6%と、地域が協力し合って子育てに取り組んでいくことの重要性に対する意識が高い。

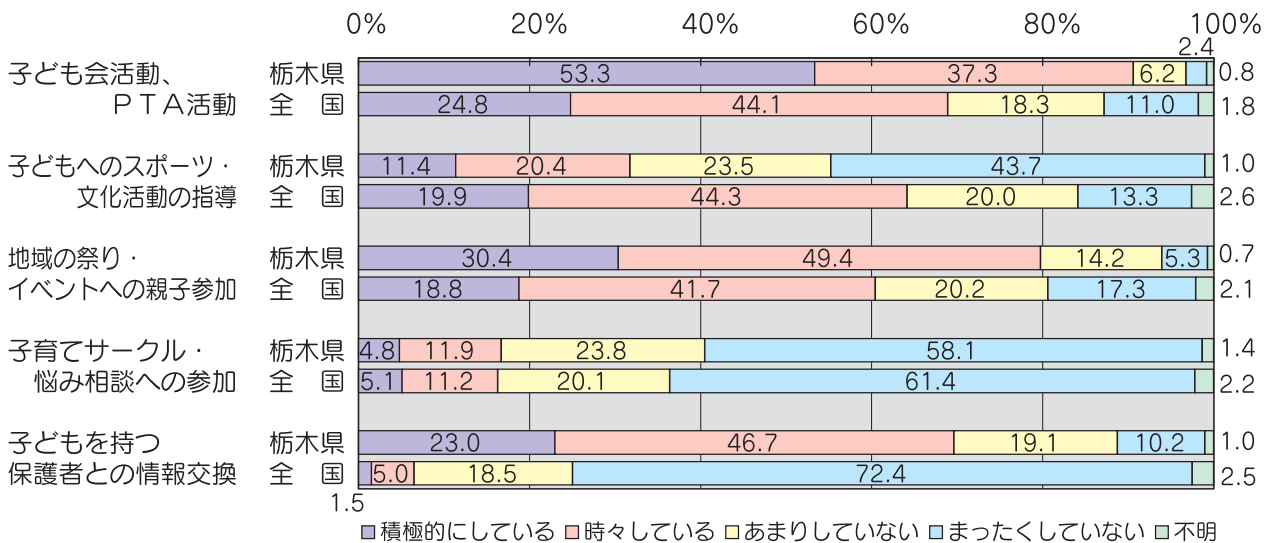
地域が協力しあって子育てすることは子どもの教育に役立っているか



(3) 保護者自身の地域の子どもたちとの交流、活動状況について

保護者の交流状況については、「子どもへのスポーツ・文化活動の指導」を除いて、ほぼ本県が全国を上回っている。特に、「子ども会活動・PTA活動」が最も高く、「積極的にしている」と「時々している」を合わせると90.6%となり、全国の68.9%と比べ、かなり積極的に交流しているといえる。

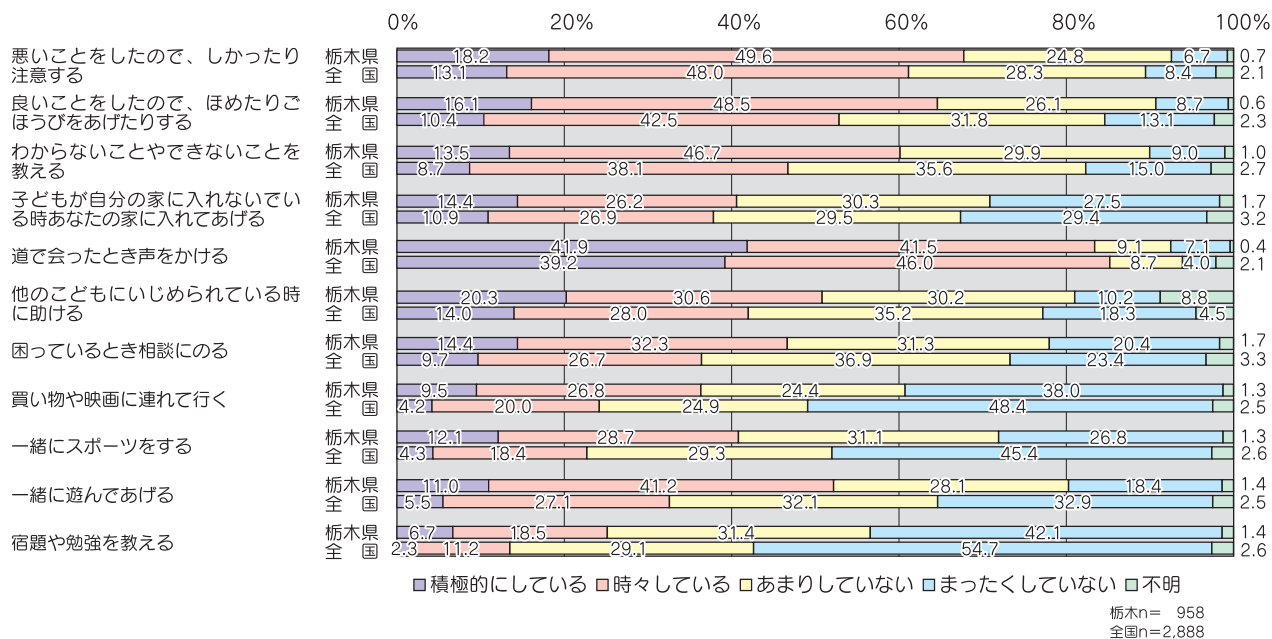
保護者自身の地域の子どもたちとの交流・活動状況



(4) 地域の子どもに対する接し方について

地域の子どもに対する接し方は、全国とほぼ同様の傾向にあるが、どの項目においても、本県の方が若干上回っている。

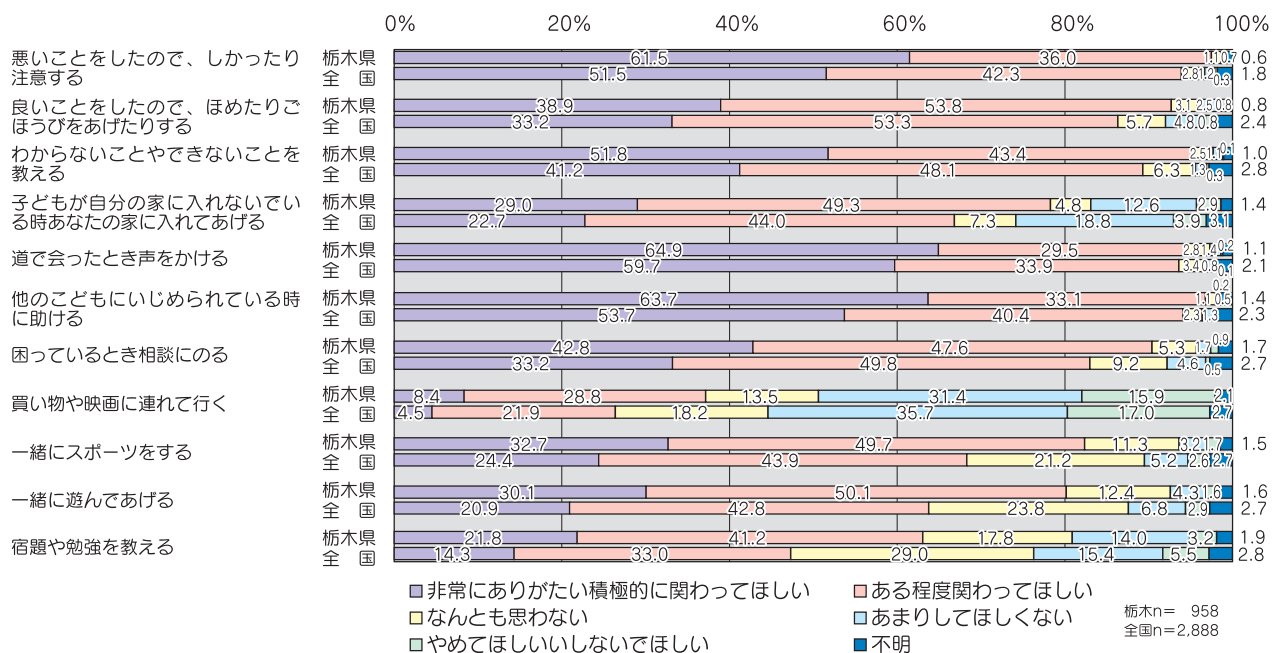
地域の子どもに対する接し方



(5) 地域の大人の自分の子どもに対する対応について

地域の人に関わってほしい内容として、「悪いことをしたので、しっかりと注意する」(61.5%)、「道で会ったとき声をかける」(64.9%)、「他のこどもにいじめられている時に助ける」(63.7%)が特に多い。これは、全国にも同じことがいえるが、本県は、さらに高い割合を示している。

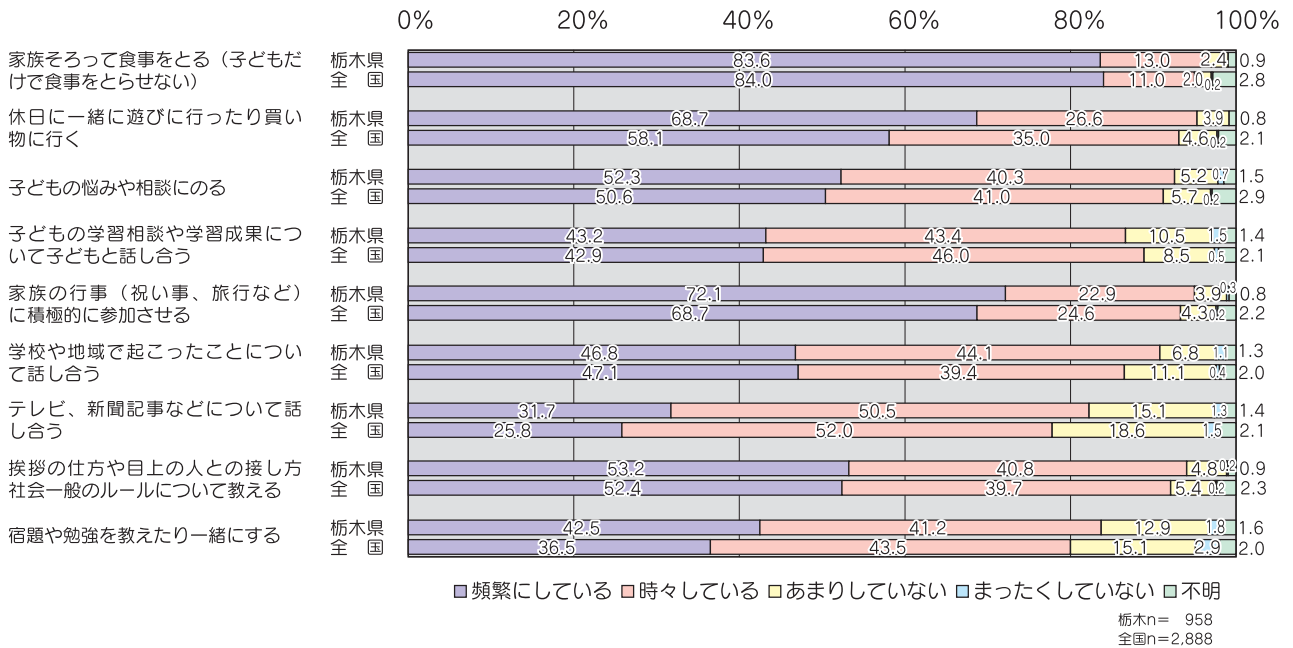
地域の大人の自分の子どもに対する対応



(6) 家族が子どもと一緒にすることについて

すべての項目において、全国とほぼ同じ割合を示しているが、その中で、「休日に一緒に遊びにいったり買い物に行く（「頻繁にしている」）」の割合だけが、本県は全国に比べて約1割上回っている。

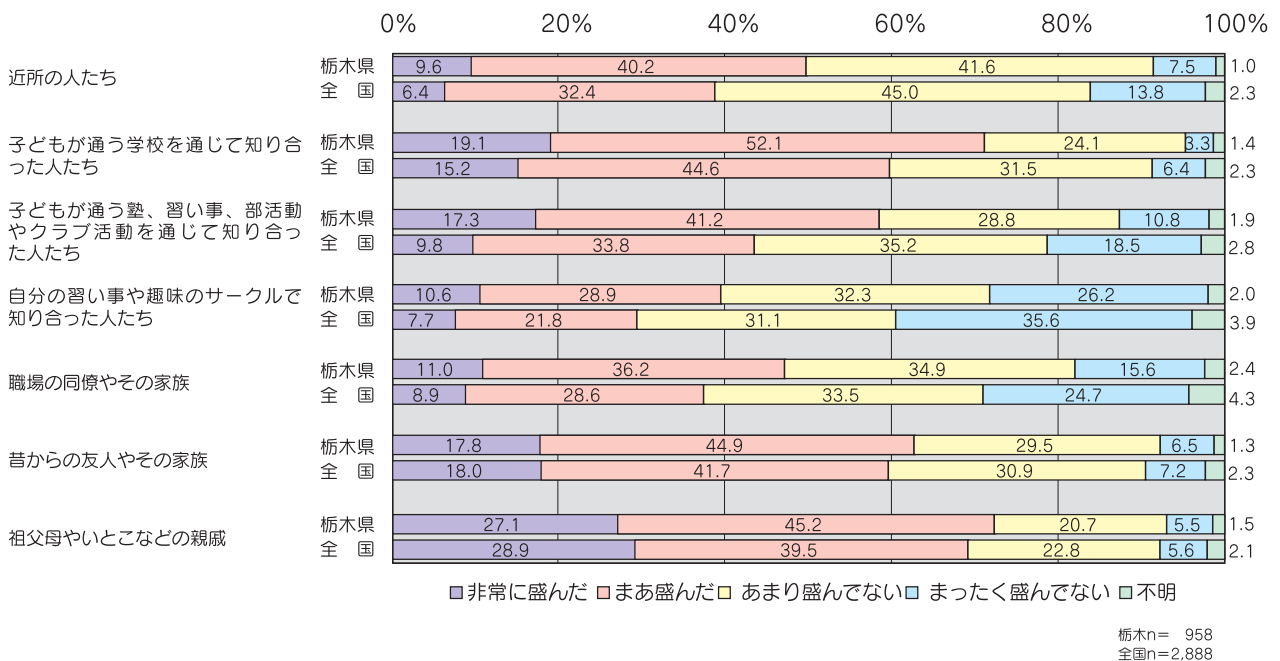
家族が子どもと一緒にすること



(7) 保護者自身の交流状況について

全国とほぼ同じ傾向にあるが、割合は小さいものの「子どもが通う塾、習い事、部活動やクラブ活動を通じて知り合った人たち」、「近所の人たち」、「職場の同僚やその家族」、「自分の習い事や趣味のサークルで知り合った人たち」との交流では、「非常に盛んだ」と「まあ盛んだ」を合わせると、本県は全国に比べ1割強上回っている。

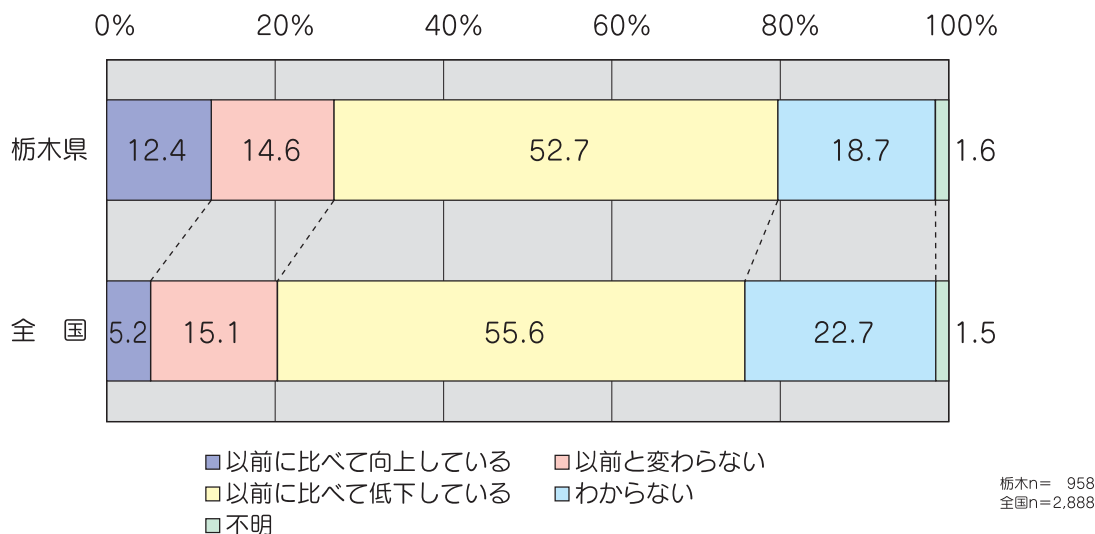
保護者自身の交流状況



(8) 自分の子ども時代と比べた現在の「地域の教育力」について

保護者が、「地域の教育力」を自分の子ども時代と比較した時、「以前に比べて低下している」と回答した割合は、全国・本県ともに50%以上を占めている。しかし、「以前に比べて向上している」と回答した割合は、栃木県（12.4%）が全国（5.2%）を大きく上回っている。

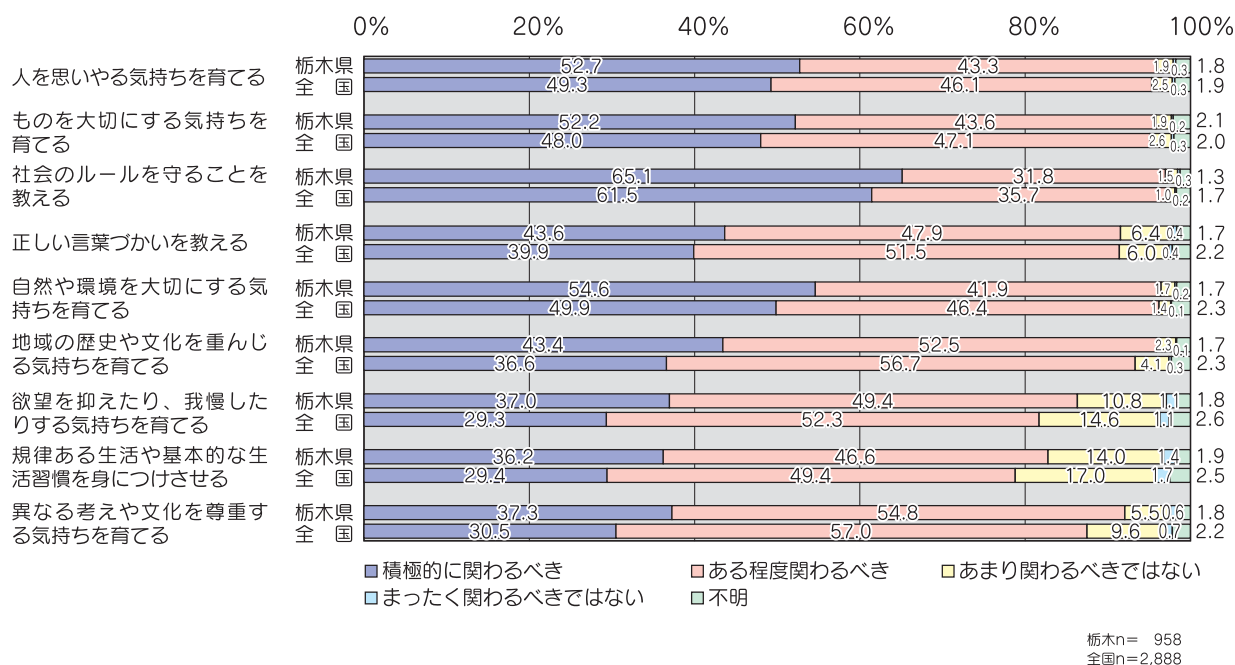
地域の教育力 自分の子ども時代との比較



(9) 地域が果たすべき役割について

子どもを育てる上で地域が果たすべき役割については、全国と同様8割以上の保護者が「積極的に関わるべき」又は「関わるべき」と答えており、地域に対する期待の大きさがうかがえる。

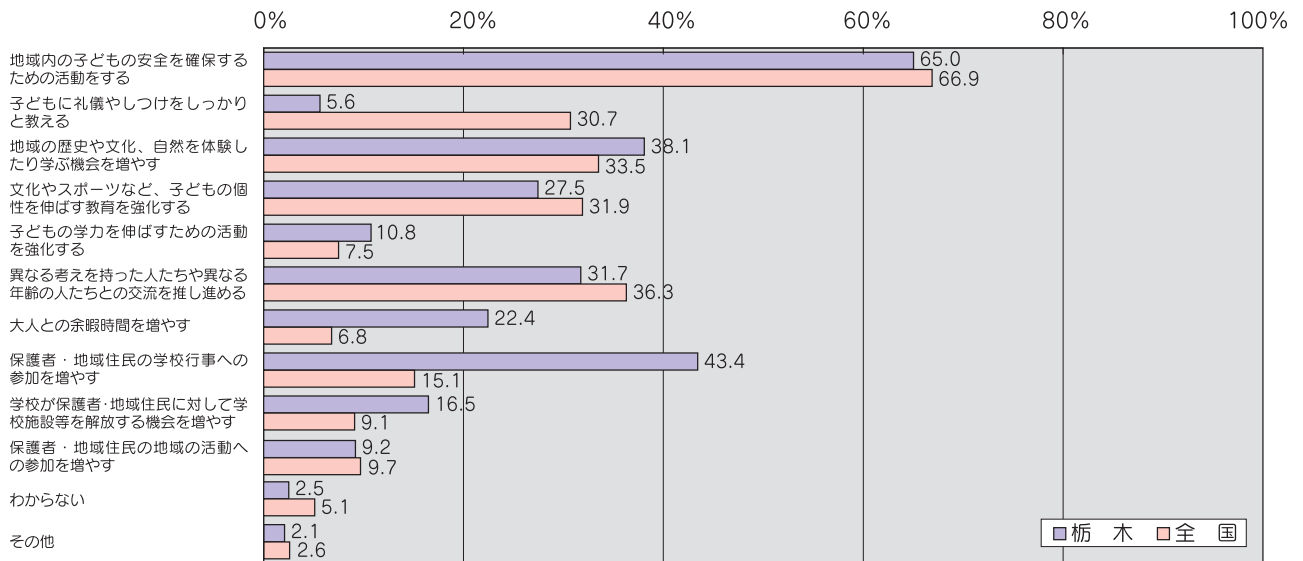
子どもを育てる上で地域が果たすべき役割



(10) 地域の教育力向上のため、地域が力を入れるべきことについて

地域の教育力向上のために地域が力を入れるべきことについては、全国・本県ともに「地域内での子どもの安全を確保するための活動をする」の割合が、一番高くなっている。しかし、「保護者・地域住民の学校行事への参加を増やす」という項目については、本県が43.4%で、全国の15.1%を大幅に上回っている。また、「子どもに礼儀やしつけをしっかりと教える」の項目については、本県の5.6%に対して、全国の30.7%に比べ大幅に下回っているなど大きな違いがみられた。

地域の教育力向上のため、地域が力を入れるべきこと



栃木n= 958
全国n=2,888